

外部性と市場の失敗

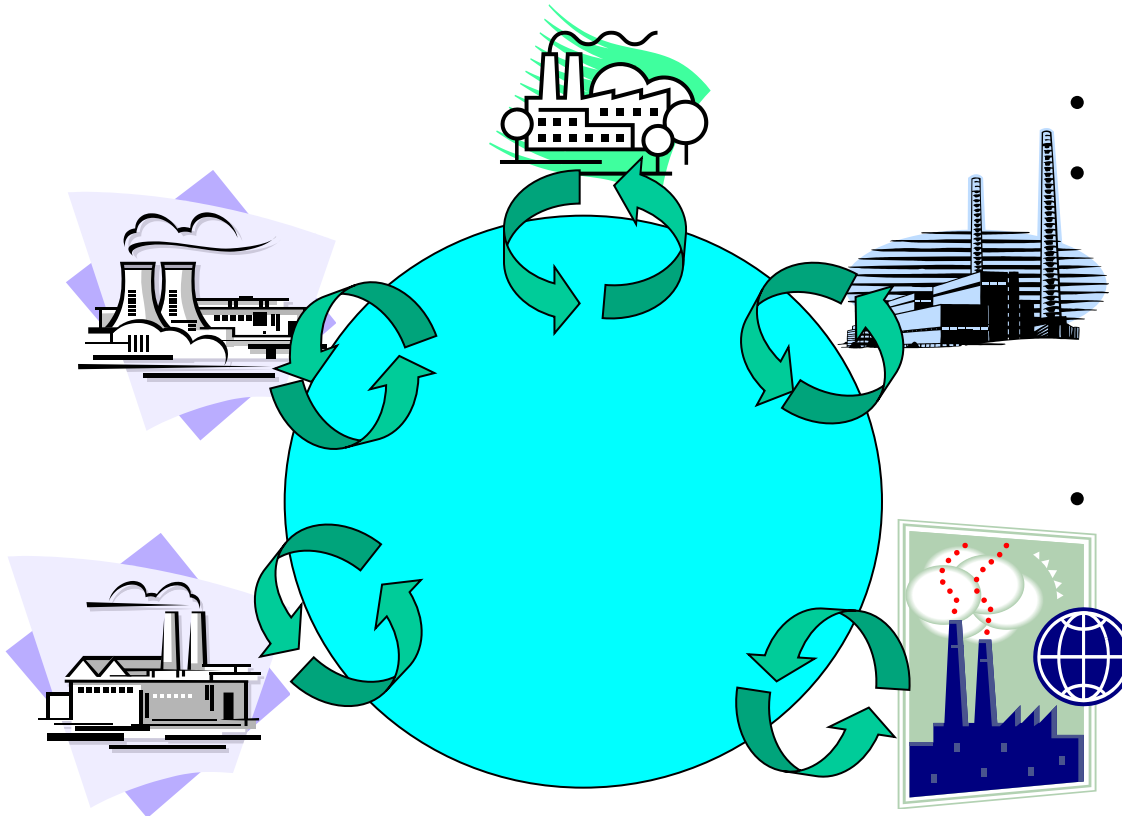
外部性とは

- ある経済主体が財・サービスを生産したり消費したりする行為が、他の経済主体に対して付随的な効果を、市場機構を媒介することなく及ぼす現象
- 制御方法
 - 市場機構の適用限界を広げる制度的工夫により外部性を内部化
 - 市場機構の外部にある権威の行政的干渉によって市場の成果を補正

厚生経済学の第1定理(復習)

- 各財の市場が競争的であるときに達成される均衡配分は、必ずパレート効率的である。
- 外部性が存在しないとき、自由で競争的な市場は効率的結果をもたらす。

環境問題（共有地の悲劇）

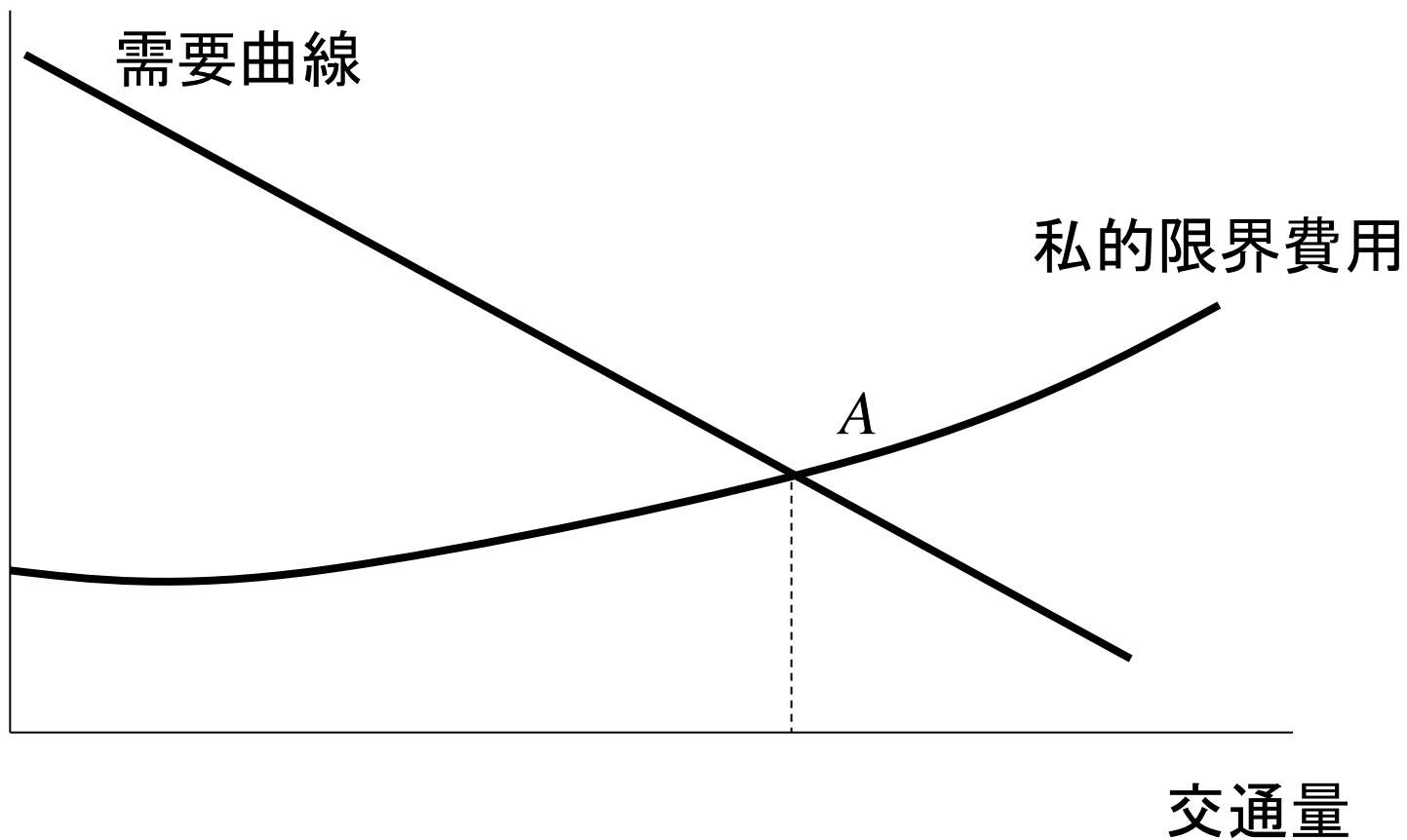


- 各工場は利潤を最大化
 - 浄化装置（費用20）をつけるかどうか意思決定
- 利潤は池の水質（浄化装置をつけた工場の数）に依存

- $\pi = 10(n+1) - 20$
 - 装置をつけた場合
- $\pi = 10n$
 - 装置をつけない場合
 - n : 自分以外に装置をつけた工場の数

道路混雜

價格



市場の失敗

- 外部性

1人の行動が無関係な人の福祉に影響を及ぼすこと
技術的外部性・金銭的外部性

- 公共財

市場で供給されない財
排除不可能性・非競合性

- 市場支配力

価格の決定に対して影響力を行使する力
例: 独占

外部性

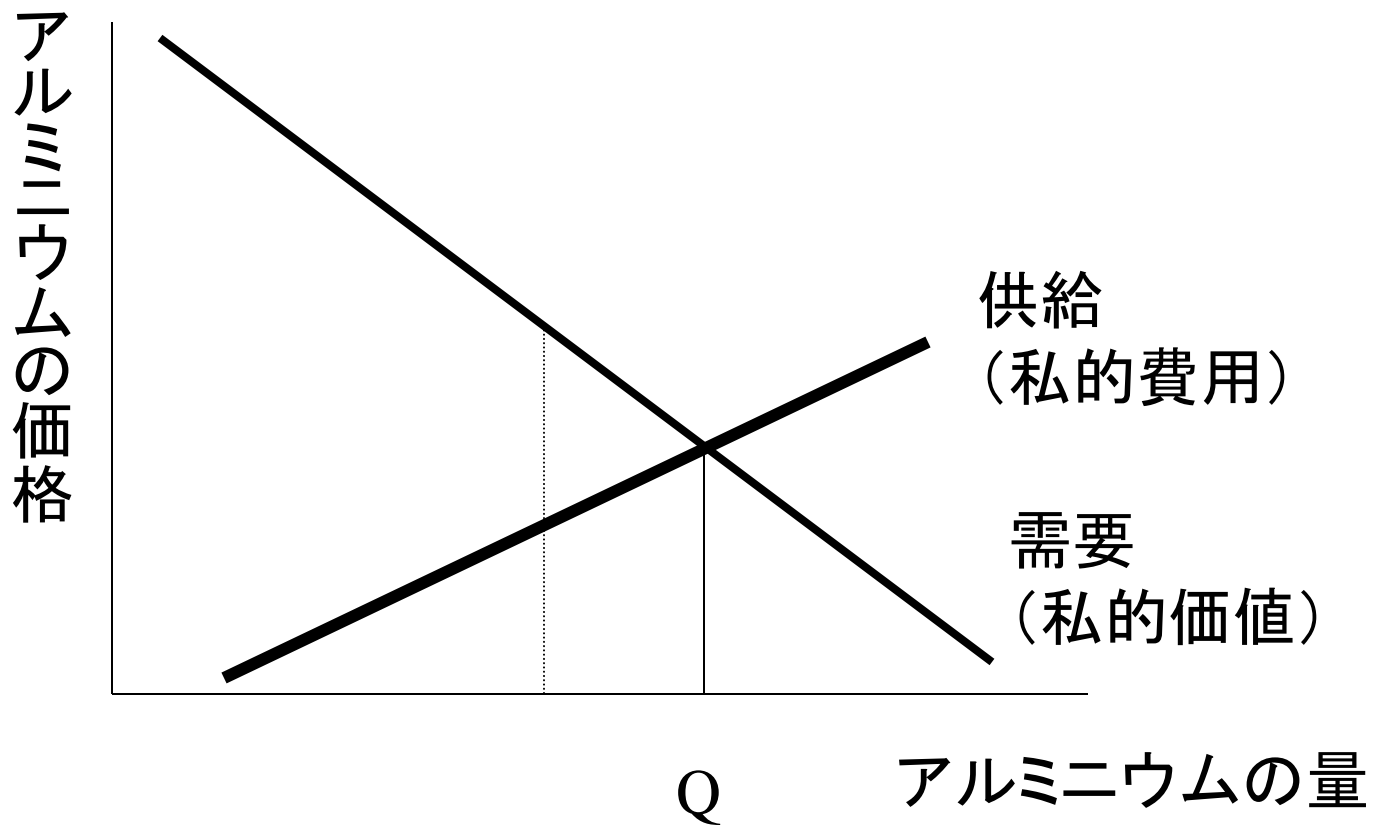
1人の行動が無関係な人の福祉に影響を及ぼすこと

影響を受ける主体にとって望ましい → 正の外部性

そうでない場合 → 負の外部性

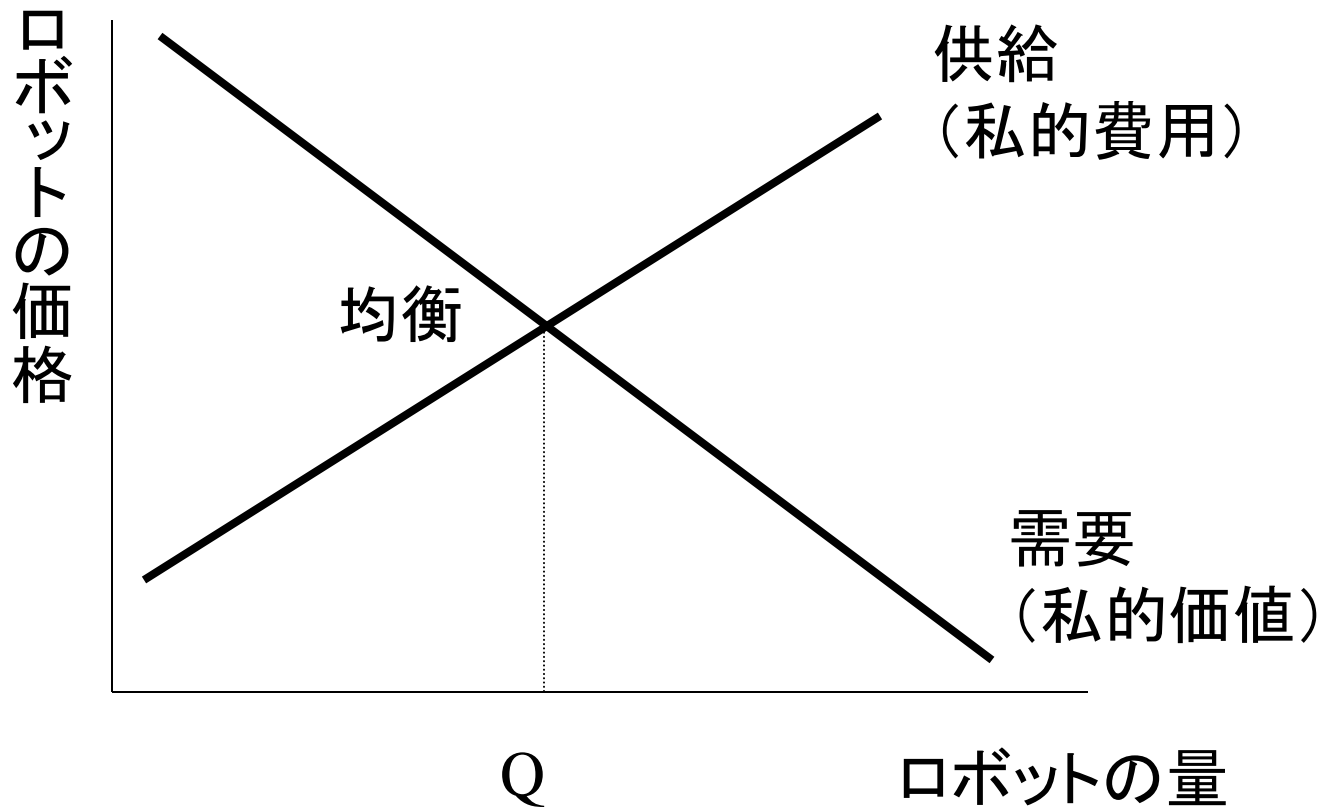
自動車の排気ガス
修復された歴史的建造物
よく吠える犬
発明・発見

外部性と市場の非効率性

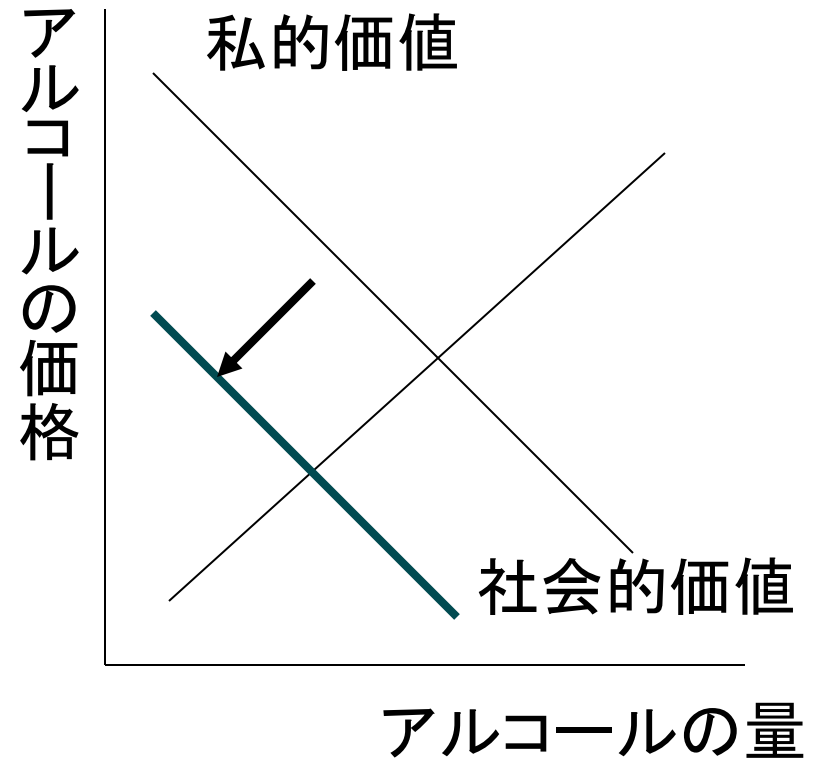
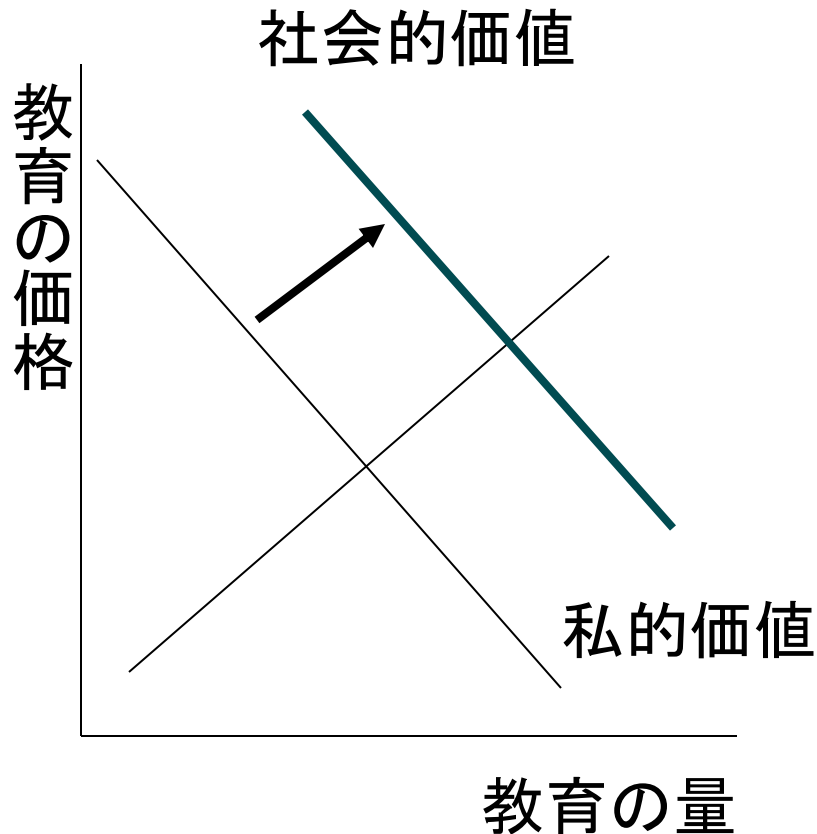


外部性と市場の非効率性

技術のスピルオーバー



消費の外部性



外部性に対する対処法

政府による対応

罰金・補助金→外部性の内部化(ビグー税)
数量規制など

当事者間での解決

コースの定理:

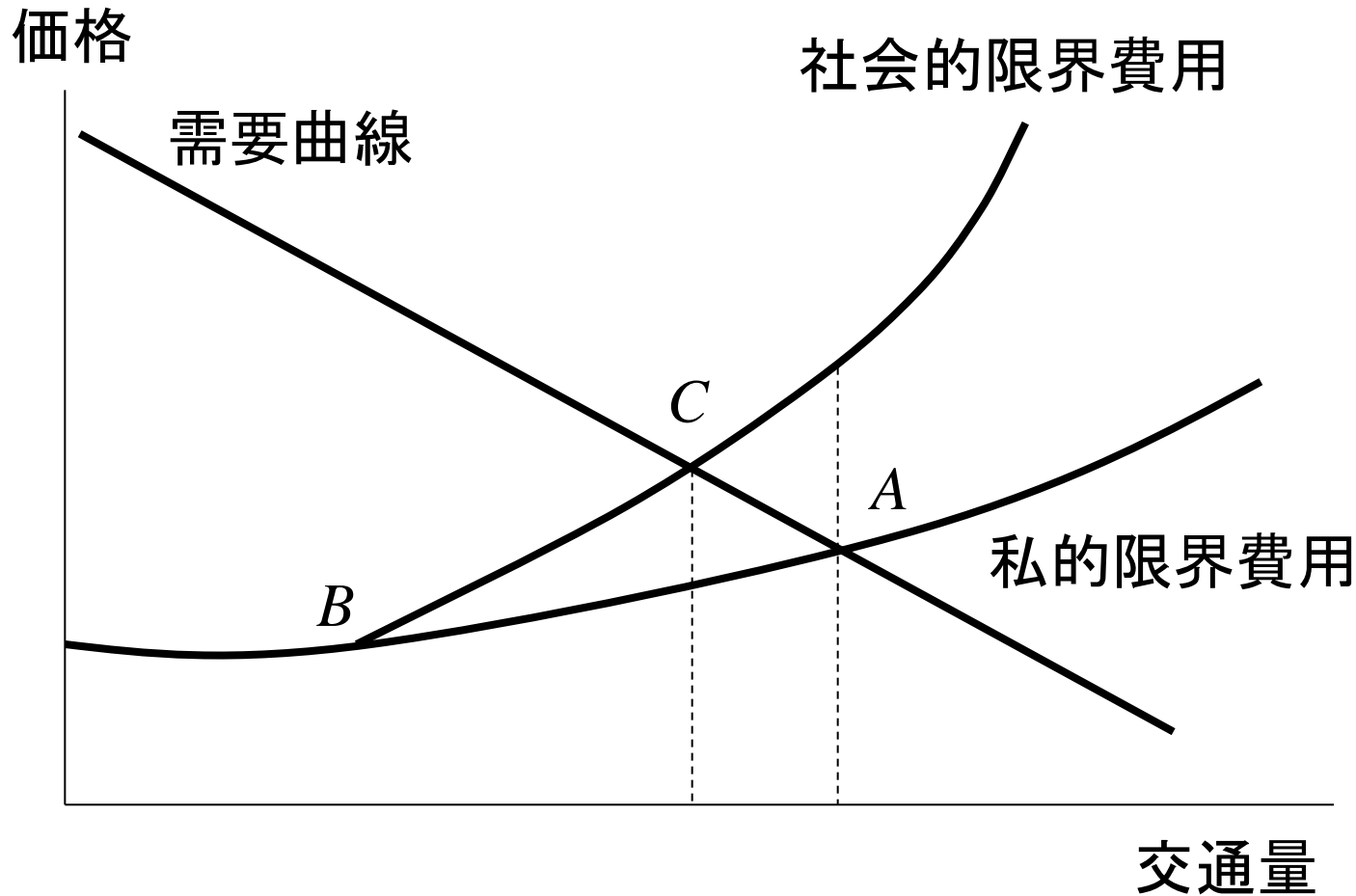
取り引き費用(交渉のコスト)が存在しなければ、当初の権利がどのように分配されていても常に全員の厚生が改善できるような結果をもたらす契約に到達する。

but 取り引き費用が無視する場合は現実には少ない

外部性の内部化方策

- ピグー税
外部性に見合う税を取る
＝汚染に価格付けをする。
- 転売可能な排出許可証
排出権取引制度

ピグー税の例（混雑税）



混雑している状況では、新たに参入した1台は他の車に影響を及ぼす